

# 台湾の LGBT の発展

提出者：柴犬グループ  
長嶋櫻、過珮慈、鄭惠心  
許孟琪、宋佳燕、林珊締

## 要旨

臺灣在 2019 年成為亞洲首個通過同性婚姻的國家。基於此事件在臺灣社會引起諸多討論，筆者們希望能了解同婚專法的通過對臺灣社會的影響，以及大眾對多元性別與 LGBT 群體的認知是否有影響。

首先，我們透過網路搜尋整理 LGBT 群體在台灣的歷史及相關的重要事件、人物、組織資料，並以同性婚姻專法通過作為分界點，整理出專法修訂、公投的演進時程和 LGBT 群體現階段在臺灣之現況、權利及法律保障。期望透過整理其發展脈絡，能更深刻了解 LGBT 群體在臺灣面臨怎麼樣的現況或困境。

另外，本報告會進行線上問卷調查來收集各年齡層民眾的意見。此次問卷調查採全程線上問卷模式，分為臺灣人版本與日本人版本，問卷包含單選、複選及自由回答問題，並以 20 歲、30 歲、50 歲為界區分成四大年齡層進行。最終回收了臺灣人版本 183 份及日本人版本 241 份問卷進行分析。筆者們希望透過這份問卷了解同性婚姻專法通過的現況。討論臺灣民眾對 LGBT 群體的認知或看法是否有所改變，以及臺日雙方在此一議題之上有何想法的相異或相同。

最後，針對我們的調查結果進行結論的陳述。筆者們認為雖然在臺灣同性婚姻專法已經通過，但國內仍有許多反對的聲音，而這些正反不同的意見都值得被聆聽及討論。同性婚姻的合法化對 LGBT 族群在社會上的權利推動與社會影響是十分長遠且必須謹慎考量的議題，值得我們繼續去追蹤及觀察。

關鍵字：臺灣社會、LGBT、同性婚姻

## 一・動機

アジア各国の LGBT に対する態度は、ヨーロッパやアメリカなどと比べ、もっと保守的であることが近年の研究で明らかとなっています。  
では、なぜ台湾はアジア初の同性婚合法の国になることができたのでしょうか。私たちも台湾人としてその理由を追求したいと考えています。また、このレポートを通じて、皆さんに台湾の LGBT の発展を理解してもらいたいと考えます。

## 二・調査の方法

- 1、インターネットで LGBT の資料を調べます。
- 2、台湾人に対するアンケートと日本人に対するアンケートを Google フォームにて作成し、インターネット上で調査を実施します。このアンケートを通じて、台湾人自身が台湾で LGBT の発展に対してどのような認識があるか、日本人はどんな考えを持っているかを知りたいです。

## 三・LGBT とは

- L：女性同性愛者（Lesbian）
- G：男性同性愛者（Gay）
- B：両性愛者（Bisexual）
- T：トランスジェンダー（Transgender）

LGBT はこの四つの性的指向の単語の頭文字を組み合わせた表現で、性的少数者を示す言葉です。LGBT という言葉は 1988 年アメリカで使われ、その後一般的な用語になりました。場合によっては、クィア（Queer）やクエスチョニング（Questioning）を代表する Q を加えた LGBTQ や、それらでは言い表し切れないものを + で表現する LGBTQ+ もあります。（\*1）

## 四・台湾の LGBT の歴史

### 1・民国前の台湾における LGBT

台湾の歴史では、百年前から台湾の LGBT グループと同性婚姻は存在しています。昔の閩南人（\*2）は、男の同性結婚のことを「契兄弟」と言います。日拠時代の明治 45 年（1912 年）では、台南にいる女性の蕭氏錦と歐氏葉の同性結婚も『臺灣日日新報』に登載されました。原住民にもこのような記録があります。排灣族という原住民族は、一緒に住んでいる男同士のことを qaliquali と呼び、女同士のことを langilangi と呼ぶ記録があります。

## 2・民国後の台湾における LGBT

台湾における LGBT のキャンペーンの取り組みについての活動の中で、祁家威（図 1）は特に代表的な人物と言えます。祁家威は台湾台北人で、LGBT の権利に力を入れて活動した「台湾で初めてホモを公開した人物」と呼ばれています。1986 年、台北地方裁判所で男性伴侶と公證結婚することを拒否されました。それから三十年間、行政、司法、立法機関に、請願、訴願、訴訟などの手段を通じて、LGBT の権力と権利のために尽力し続けています。



図 1：祁家威（<https://zh.wikipedia.org/wiki/祁家威>）

## 3・台湾における LGBT に関する大きな出来事

1990 年最初のレズ団体『我們之間』成立

1995 年最初のホモ団体「同志空間行動陣線」成立

2003 年アジア初の LGBT パレードが台北で行われる。

2018 年同性愛者の婚姻の住民投票が実施された。

## 五・台湾 LGBT の現況と権利

### 1・台湾の同性婚を保障する法律

2012年：同性愛者の権利擁護団体が同性結婚を法制化する草案を新たに提出したが、廃案となった。

2017年：5月24日、台湾で最高司法機関の司法院大法官會議（憲法裁判所に相当）は、同性婚を認めていない現在の民法の規定は憲法に違反しているという判断を示し、同性婚の法制化を2年以内に行うよう言い渡した。

2019年：5月17日、台湾の立法院（国会）は同性婚の権利を保障する専門法案「司法院釈字第七四八号解釈施行法」を可決した。法的に同性婚が認められるのはアジアでは初であり、世界で25番目である。この法案は5月24日に施行され、同日に婚姻届の受理が始まった。この法改正により、台湾はアジア初の同性婚が合法化がされた国となった。

番号	項目	合法性
1	同性性行為の合法性	✓
2	男性の女装と女性の男装の合法性	✓
3	性行為できる年齢の同一年齢化	✓
4	反差別法の実施（教育と雇用）	✓
5	同居関係でも家庭内暴力防止法を適用	✓
6	同性婚	✓
7	同性間におけるパートナー関係を承認する	✓
8	LGBTグループの服役の公開	✓
9	エイズの感染者等の海外からの入国	✓
10	法的性別の変更（身分証明書の性別の変更）	✓（性別適合手術が必要）
11	商品とサービスの規制に反差別法を適用	×
12	その他全ての分野を反差別法を適用 （含：間接的な差別や言論によるもの）	×
13	同性間におけるパートナーの養子縁組	×
14	女性の同性愛者が体外受精を行うこと	×
15	男性の同性愛者による献血の許可	×

表1 台湾のLGBTグループの合法的な権利と非合法的な行為一覧表

現在台湾のLGBTグループの権利は性行為、家庭関係、婚姻、兵役、健康、仕事などいろんな分野と関わっています。性行為については、同性性行為合法化、性行為できる年齢が男の子と女の子が同じ年齢（16歳）になりました。家庭関係では、暴力を受けたら同居関係でも家庭暴力防止法を適用する事、同性パートナー関係が認められました。婚姻については、前述の通り、2019年から合法的に結婚できるようになりました。しかし、同性同士のパートナーが養子縁組することはまだできません。兵役に関しては、LGBTグループも服役できます。健康面においては、エイズの感染者も海外から入国できるようになりました。しかし、男性の同性愛者の献血はまだ実現化していません。

仕事関連では、反差別法の実施で、職場での性別差別行為や制限をはっきり律しています。例えば2011年、台北の馬偕病院は従業員を差別し、離職させたため、《性別就労均等法》により、台北市政府に五万元の罰金を課せられました。

## 六・アンケート結果分析

今回のアンケートは、台湾人向けと日本人向けの二版に分かれ、百人以上の回答を回収しました。それらの分析結果を以下に記します。

### 台湾人に対するアンケート結果

回収数：183人

#### 1.年齢

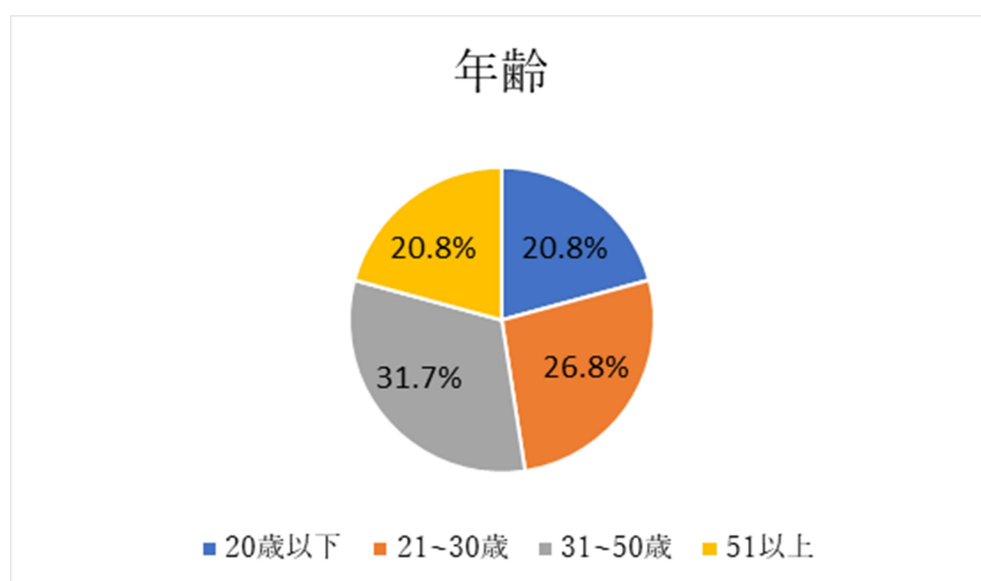


図2：アンケート回答者の年齢

今回のアンケート対象は、四つの年齢層に分けて、各年齢の人々の意見を集めることにしました。グループの内訳は20歳以下の青少年グループ、20歳台の青年グループ、30代～50代の中年グループ、50代以降の高年齢グループの4つです。

今回のアンケートの回答回収、各年齢層の実際人数は以下の通りです。  
20歳以下:38人 / 21～30歳:49人 / 31～50歳:58人 / 51歳以上:38人

## 2.生理性別

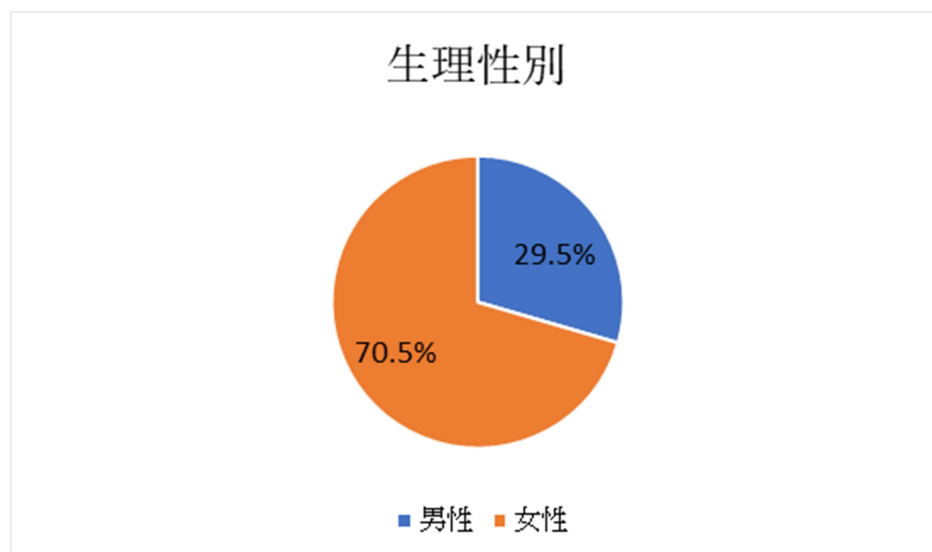


図3：生理性別の回答結果

## 3.性別一性（心理的な性別の認知）

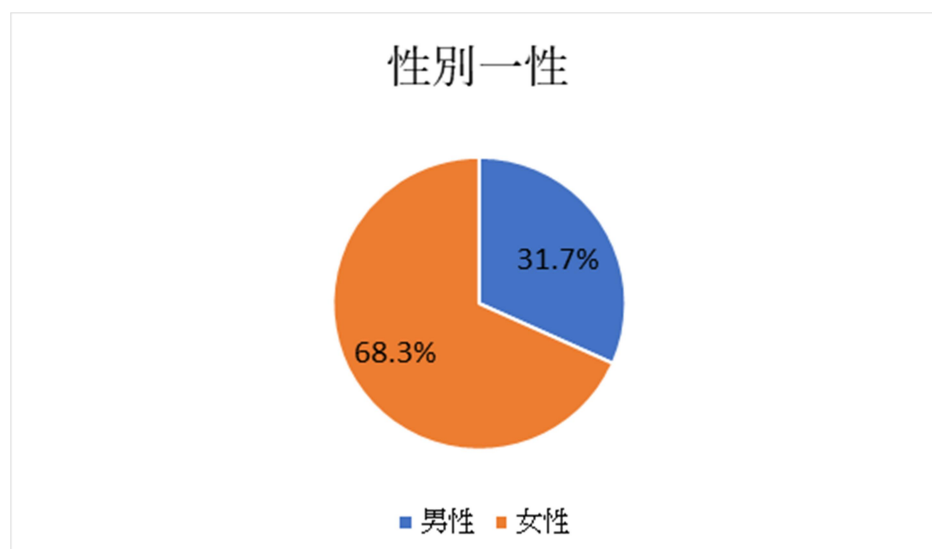


図4：性別一性の回答結果

問題3と問題2を比べると、心理的に男性と認知している人は、生理的な男性より2.2%増え、つまり、四人の生理女性は心理的に自分のことを男性だと思っていることがわかります。

#### 4.性的指向（性的な魅力を感じるのは男性や女性）

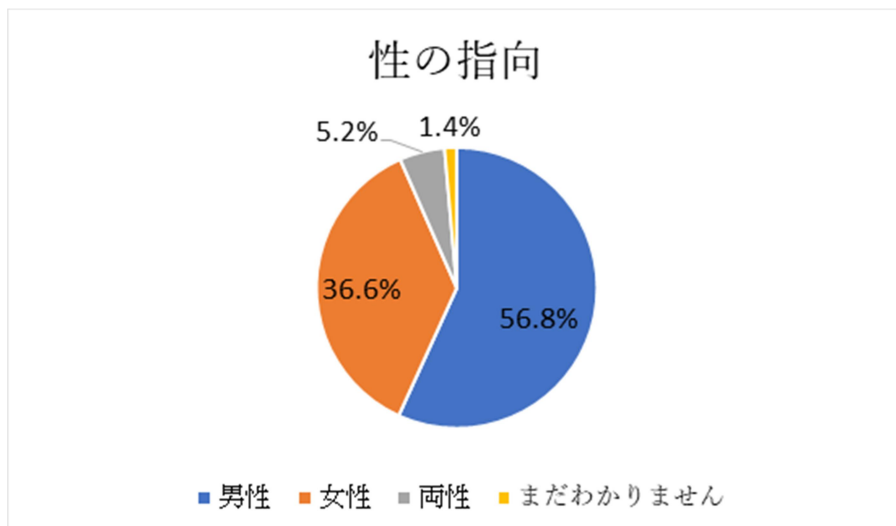


図5：性の指向の回答結果

問題4に関しては、両性愛者の人数は5.2%を占めており、約10人います。注目すべき点は、1.4%、約2人の方はまだ自分の性的指向が分からない人が含まれています。

#### 5.「LGBT」という言葉の意味が分かりますか。

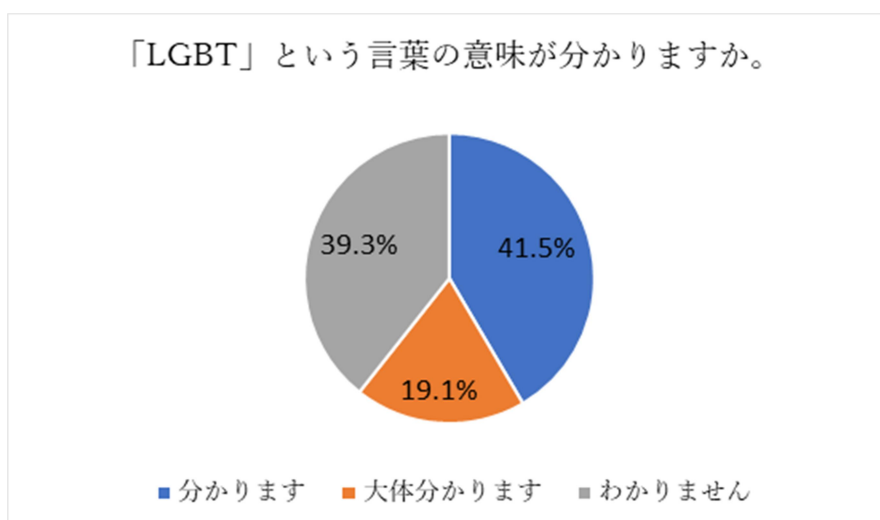


図6：「『LGBT』という言葉の意味が分かりますか」の回答結果



結果から「LGBT」という言葉の意味をはっきり分かる人は半数以下にとどまり、LGBTを知らない人は4割いるということ分かりました。

6.一つ前の質問で「分かります」と「大体分かります」と答えた方は、どこから「LGBT」の意味を知りましたか。（複数回答可）

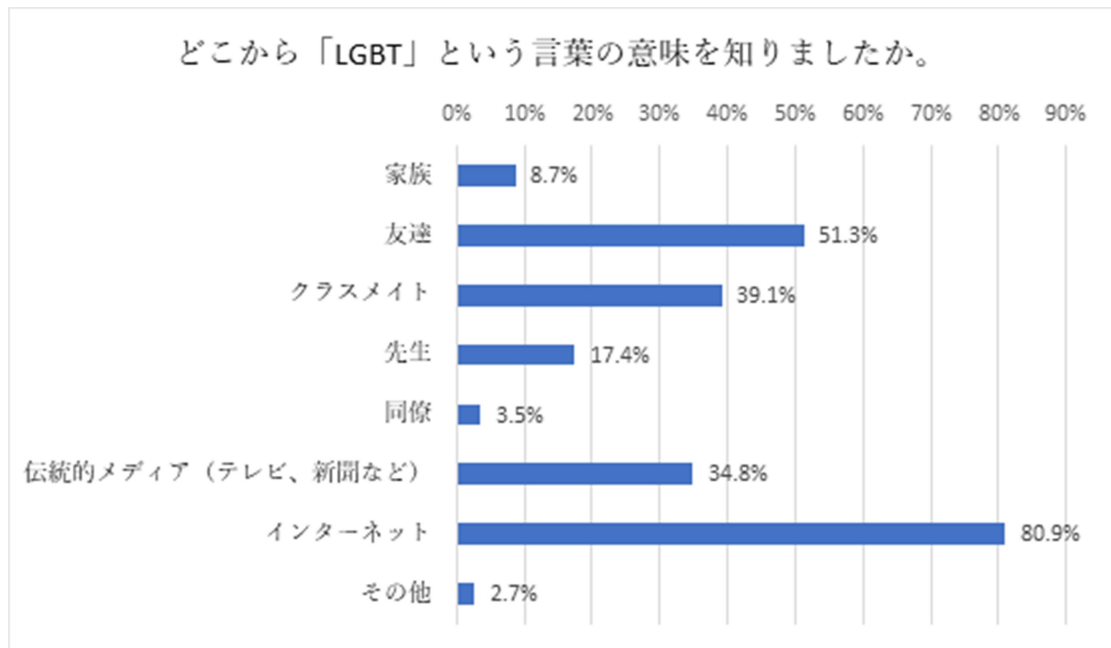


図7: 「どこから「LGBT」の意味を知りましたか」の回答結果

この問いに対し、80.9%の方はインターネットで「LGBT」の意味を知ったということがわかりました。また、2.7%のその他と答えた人のうち、本や論文などで知った人は3人でした。

7.性的指向は先天的なものだと思いますか。後天的なものだと思いますか。

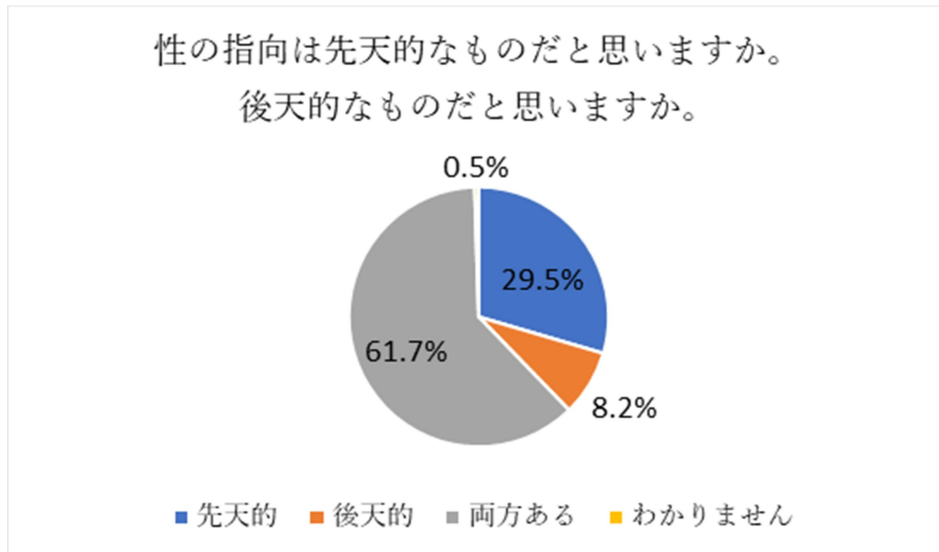


図8：「性的指向は先天的なものだと思いますか後天的なものだと思いますか。」の回答結果

61.7%の人は、性的指向は両方（先天的な場合と後天的な場合）がある、人によって違う、と回答しました。その中の1人は：「よく分かりません。後天的だと思いますが、先天的なものと他人から教えてもらいました。」と答えています。

## 8.LGBTグループ（同性愛者、両性愛者、トランスジェンダー）の家族、友達、クラスメイト、同僚はいますか。

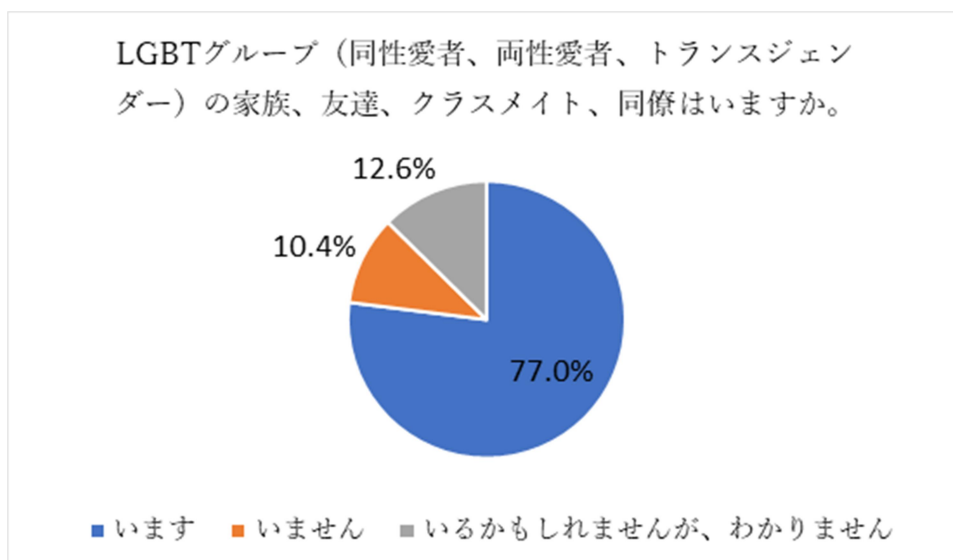


図9：「LGBTグループの家族、友達、クラスメイト、同僚はいますか。」の回答結果

この問いは、日常生活において LGBT グループとどのくらい接することがあるか、そして、LGBT グループの存在をどのくらい意識するかを知りたいという目的で設置しました。その結果、77%の人は LGBT グループと接した経験があり、そのことも意識していると答えました。

## 9.LGBT グループ（同性愛者、両性愛者、トランスジェンダー）の人を受けられますか。

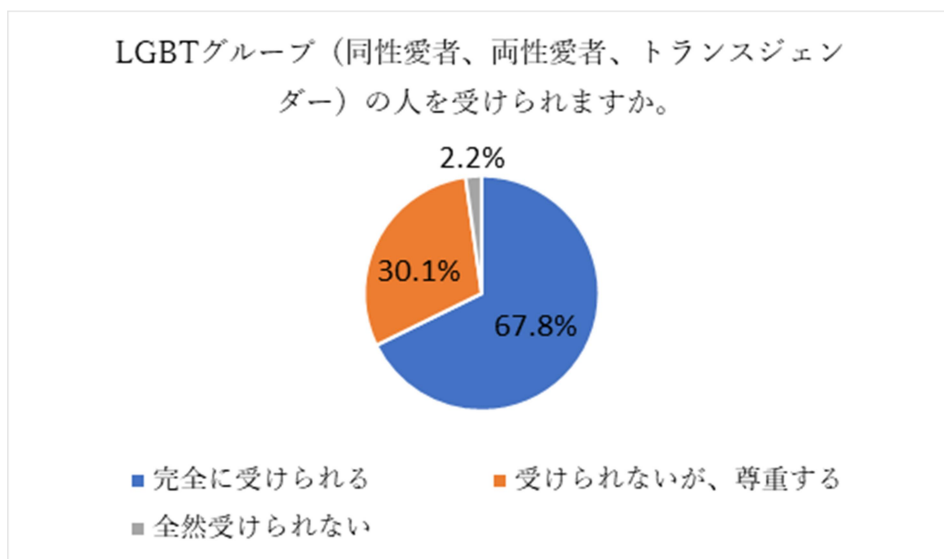


図 10：「LGBT グループの人を受けられますか。」の回答結果

## 10.問題 9 について 受けられる理由や受けられない理由を教えてください。

受けられる	受けられない
個人の意志を尊重する	宗教的な理由
幸せに生きていければ良い	自然天性を違反する
人々は自由平等だ	極端な考え方
自分は LGBT グループの一員だ	ステレオタイプ、価値観と違反する
自分とは関係ないことだから、どうでもいい	伝統的な家庭構造を破壊する、子供の教育に悪い

皆同じ人間だから	社会秩序を乱す
正常なことなので、反対する理由はない	LGBT グループの人は行いに節操がない、身持ちが悪い
愛は性別と関係ない	気持ち悪い

(回答は多いので、似ている回答をまとめて記入)

それぞれの理由を自由記述で書いてもらったところ、とてもたくさんのお返事をいただくことができました。ここでは似ている回答をまとめて整理したものを記しています。

11. 他人と LGBT グループ（同性愛者、両性愛者、トランスジェンダー）について語り合ったことはありますか。

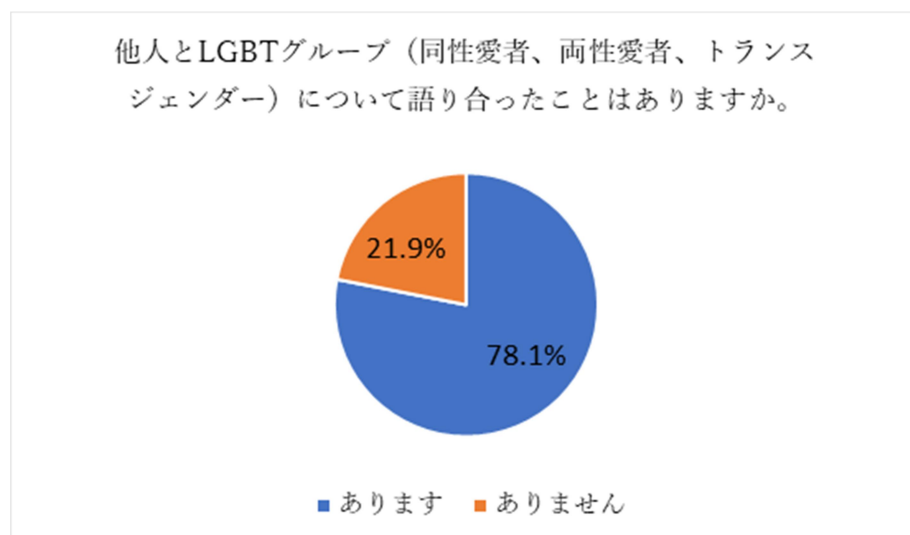


図 11：「他人と LGBT グループについて語り合ったことはありますか。」の回答結果

LGBT を話題にしたことがある人は約 8 割おり、関心の高さがうかがえます。

12. 台湾が同性結婚を認める法律を可決したことを知っていますか。

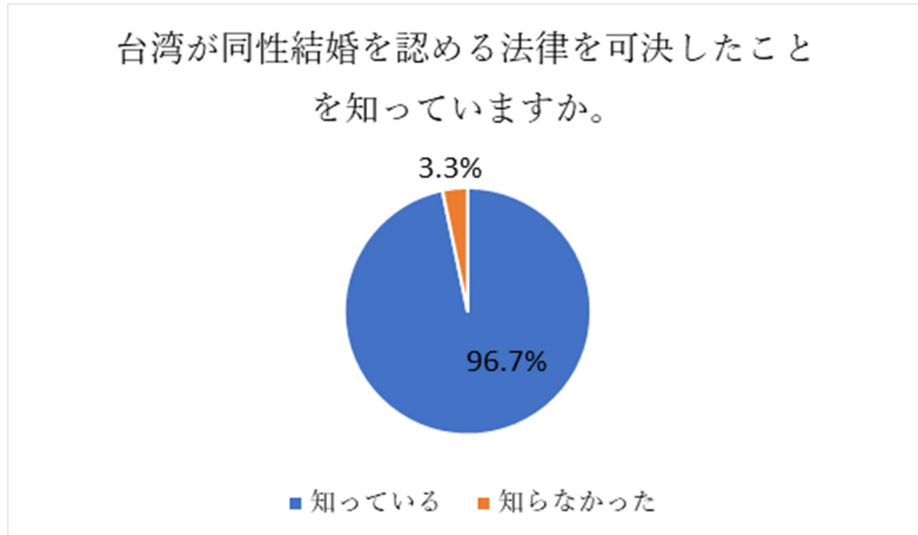


図 12：「台湾が同性結婚を認める法律を可決したことを知っていますか。」の回答結果

このアンケートに回答した9割以上の台湾人が台湾で同性婚を認める法律が可決されたことを認知していると言えます。

13.問題 12 について、可決したことは、今後の台湾社会にどんな影響を与えますか。（複数回答可）

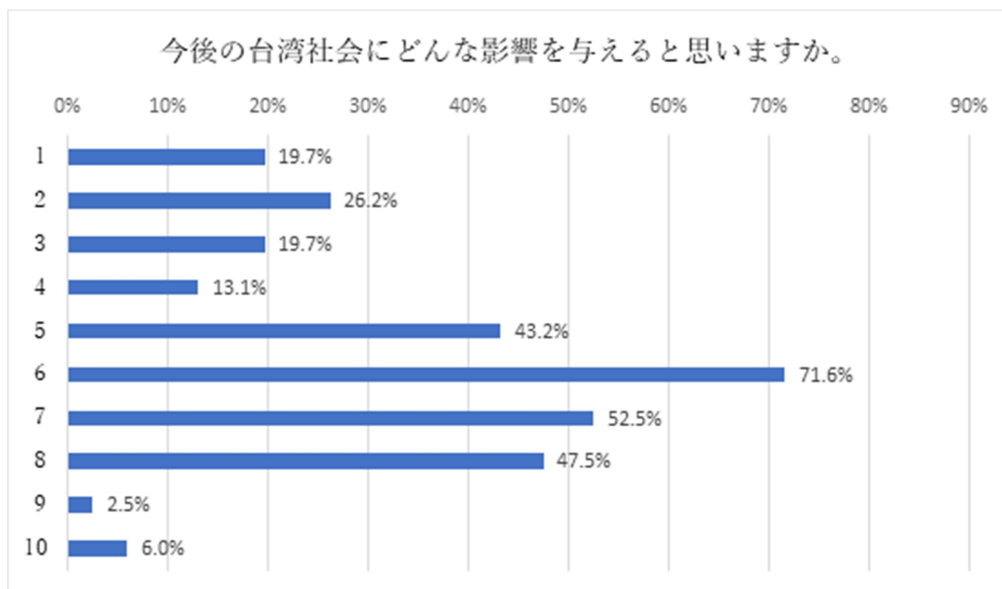


図 12：「今後の台湾社会にどんな影響を与えますか。」の回答結果（グラフ）

1	子供を同性愛者、両性愛者、トランスジェンダーを変わる
2	家庭の呼称（「父」、「母」など）を混乱する
3	家庭と人口の発展に不利になる
4	エイズに感染する人が増える
5	性別差別で起こすいじめや自殺を減る
6	多様な性別や性同一性について理解できる方法が増える
7	台湾の民主価値を示す
8	台湾の国際知名度を高まる
9	他人を尊重するようになる
10	その他

図 13：「今後の台湾社会にどんな影響を与えますか。」選択肢

その他の中には「同性婚姻は政治手段の一つ」、「他の議題にも関心を与える」などがありました。

## 日本人に対するアンケート結果

回収数：241 人

### 1.年齢

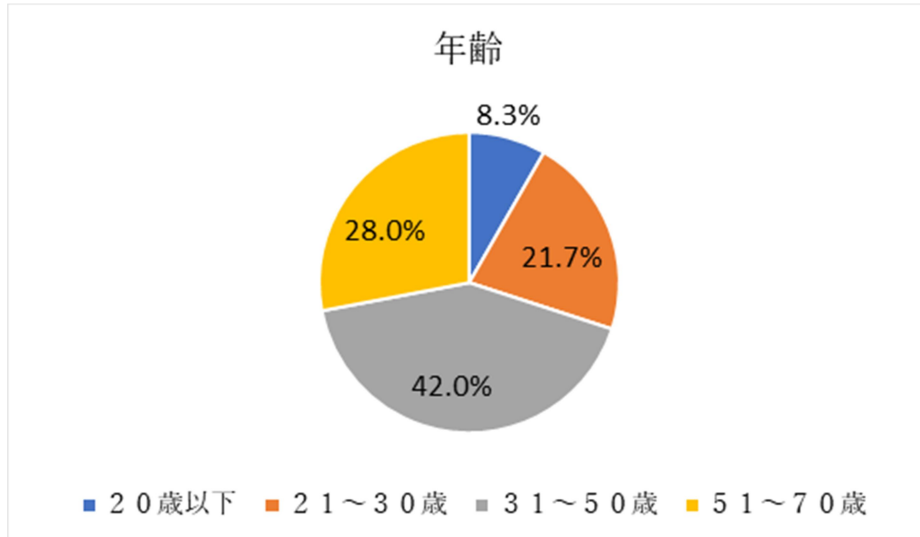


図14：年齢の回答結果

20歳以下が20人、21~30歳が52人、31~50歳が101人、51~70歳が67人でした。また、回答者のうち2人の年齢が結果に反映されなかったため、年齢の合計数のみ239人となっています。（下記の結果から2人の回答も含む）

## 2.LGBTのそれぞれの意味を知っていますか。

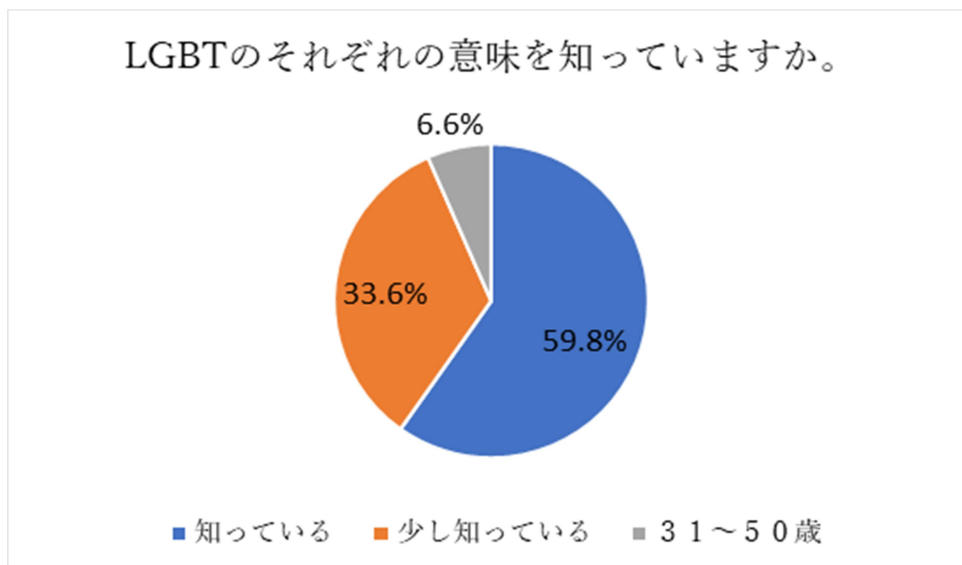


図15：「LGBTのそれぞれの意味を知っていますか。」の回答結果

知っていると答えた人は144人、少し知っていると答えた人は82人、知らないと答えた人は6.6%で15人でした。9割近い人がLGBTについて認識しており、また半数以上の人自身がその意味を知っていると捉えていることが分かりました。

### 3.(上記の問題に「知っている」か「少し知っている」と答えた方)

そのことをどこから知りましたか。

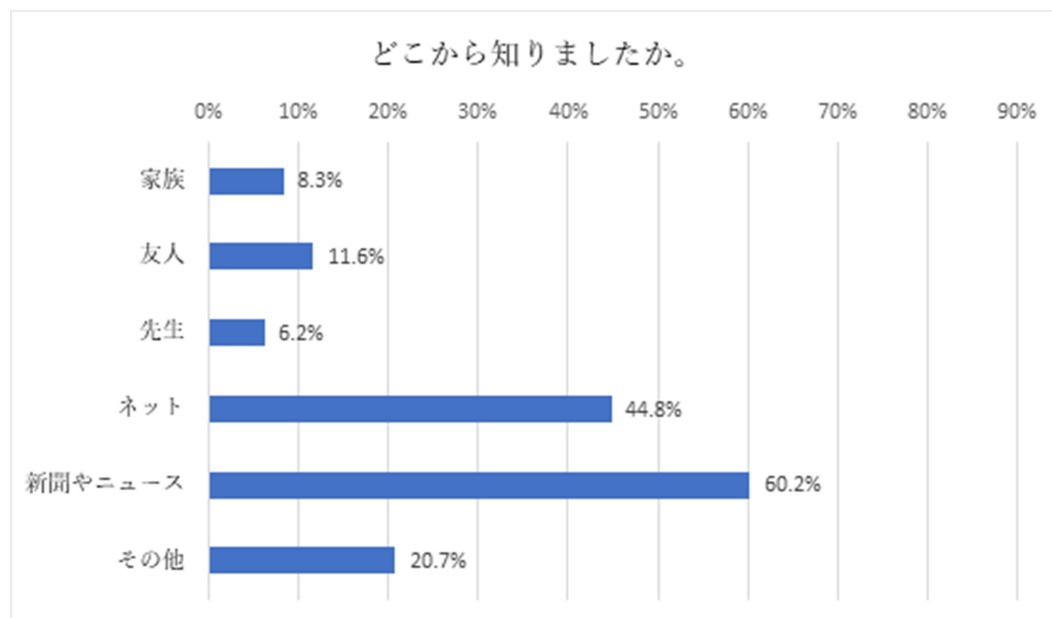


図 16: 「どこから知りましたか。」の回答結果

一番回答が多かったのが「新聞やニュース」から LGBT について情報を得たという回答でした。その次に高い数値だったのが「ネット」からという結果になりました。多くの方はメディアから LGBT に関する情報を得る機会があったと言えます。

### 4.いつ恋愛対象が異性か同性か決まるとお考えですか。

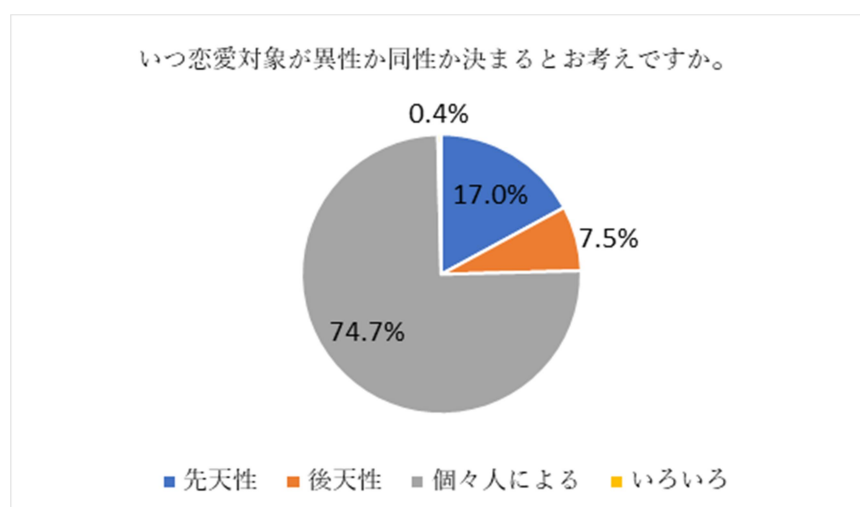


図 17: 「いつ恋愛対象が異性か同性か決まるとお考えですか。」の回答結果



一番支持が多かったのは74・7%で180人から得た「個々人による」という回答でした。続いて多かったのは「先天性」で41人、次いで「後天性」だと考えている人は18人でした。また別回答で「環境や経験」によるという回答や、「いろいろ」（回答自体は誤記で「いろいろ」となっていた）という回答もありました。

5.あなたの周りにLGBT(同性愛、両性愛、トランスジェンダー)の家族、友達、知り合いがいますか。

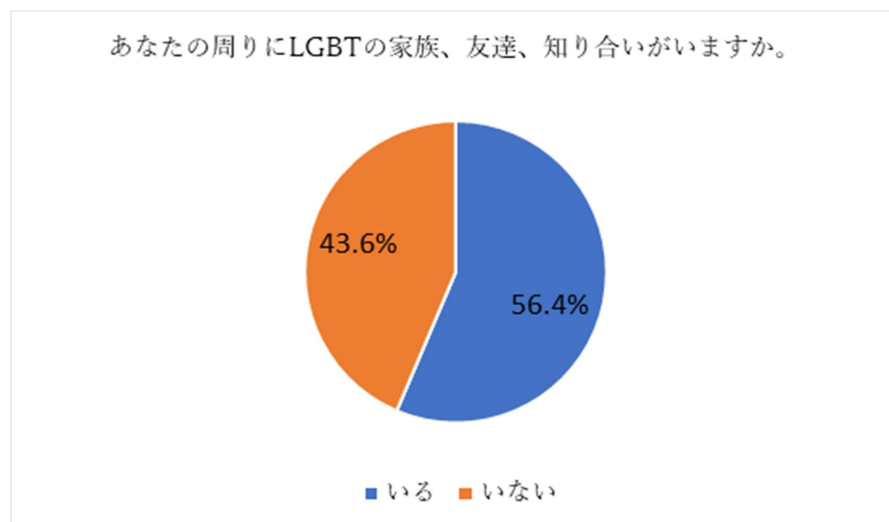


図18：「あなたの周りにLGBTの家族、友達、知り合いがいますか。」の回答結果

いると回答した人は136人、いないと回答した人は105人でした。中国語版のアンケートと比較すると、日本人間でLGBTであることを告白している人は少ないとも考えられます。

6.台湾が同性婚を認める法律を可決したことを知っていますか。

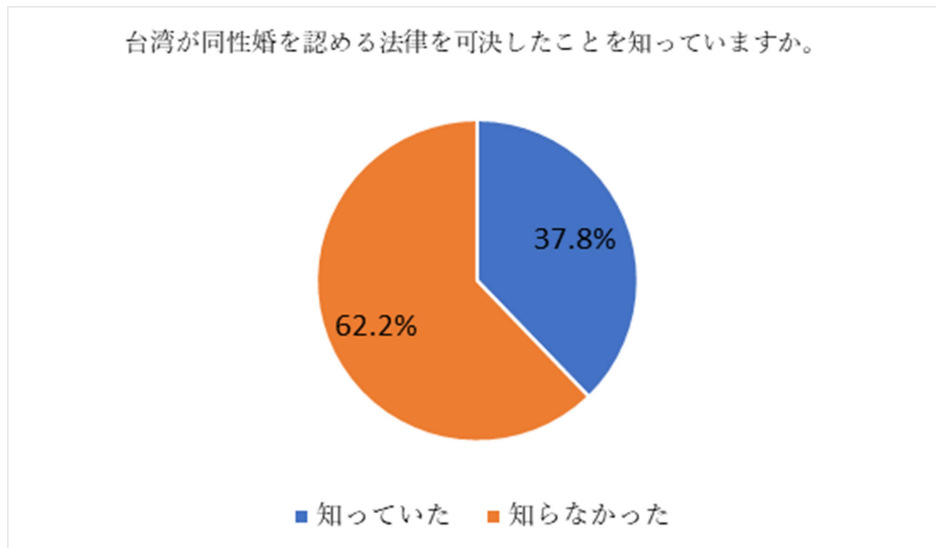


図 19：「台湾が同性婚を認める法律を可決したことを知っていますか。」の回答結果

この質問に対して、知っていたと答えた人は 91 人、知らなかったと答えた人は 150 人でした。

## 7.近い将来、日本で同性婚を認める法律が成立すると思いますか。

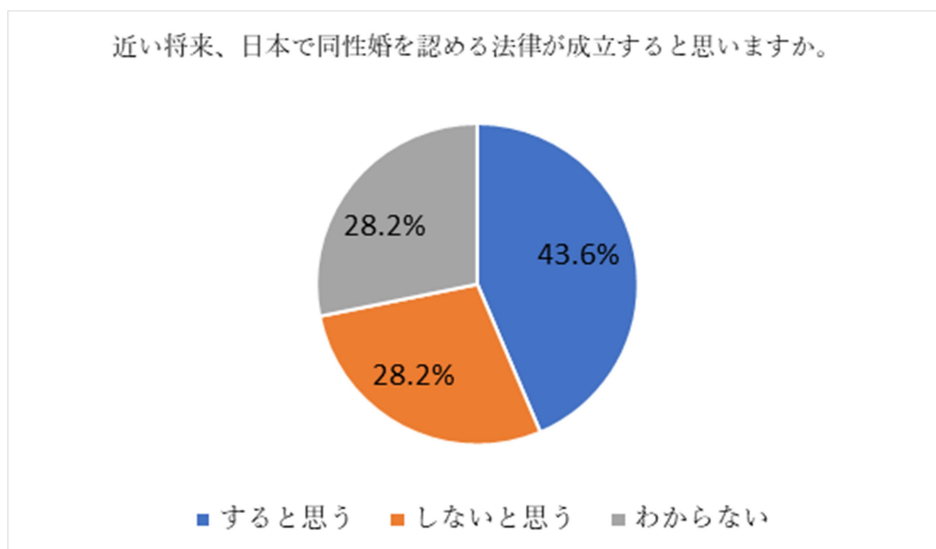


図 20：「近い将来、日本で同性婚を認める法律が成立すると思いますか。」の回答結果

すると思うと答えた人は 105 人、しないと思うと答えた人は 68 人、分からないと答えた人は 68 人でした。

以下は上記の質問に対する考えを自由記入で答えてもらったものから抜粋した回答を記載してあります。

## 「すると思う」と答えた人の回答例

21～30 歳

「先進国の多くが同性婚を認めているし、性別関係なく人を愛する自由が認められる現代の社会の風潮があると思います！」

21～30 歳

「周りの国が変わってきているから」

31～50 歳

「してほしいから。私自身はヘテロですが、同性婚は異性婚と同じく、良いもの・喜ばしいもの、として認識しています。」(ヘテロセクシュアルとは、「異性に対して恋愛感情を寄せ、性的な欲求を感じる性的指向をもつセクシュアリティ」を指す)

## 「しないと思う」と答えた人の回答

21～30 歳

「パートナーシップの拡充が優先されると考えるため」

(パートナーシップが未だ広まっていないことから同性婚の法律は難しいと考える類似回答は 5 件)

21～30 歳

「夫婦別姓の議論もされてからまだ法律改正されてないので、成り立ちが違うからかもしれないが結婚の法律を変えることについて日本は保守的に見える。」  
夫婦別姓について類似回答が 12 件

31～50 歳

「台湾と日本の国民性の違いを感じる。台湾では普通に LGBT のカップルが手を繋いだり、寄り添ったり、日常的であり、それを嫌な顔をしたり、咎めなさたりしない、認め合っているように思う。日本ではなかなかそういうわけにはいかない。なので、同性愛者の結婚の法律は、今のところは成立しないと思うが、今後はどうなるか??である。」

## 「分からない」と答えた人の回答

31～50 歳

「個人的には同性婚を認める法律ができてほしいけれど、保守的勢力が徹底的に反対して覆さない気がするから。世界的に同性婚を認める法律が当然という流れになれば、ようやく法整備されそう。」

31～50 歳

「認められればいいなと思うけれど、決める人たちがどう判断するか私にはわからない」

20 歳以下

「日本ではまだLGBTを腫れ物のように扱う傾向にあるから。また書類などを書く際に男、女以外に性別が用意されていることも少なく、あまり受け入れる準備が整っていないように思える。」

## アンケートの結果

4割ほどの人が日本でも同性婚が認められる法律が可決する流れになると考えています。その理由として挙げられていたのは、先進国が次々と同性婚を認めていることや、自身が同性愛者であることから法律の成立を願う声もありました。一方でしないと考える3割の人の意見として「パートナーシップ制度」が已然として渋谷区のみでしか認められておらず認知度が低いことや、日本が保守的な国であるため簡単に法律を変えることが難しいのではないかという意見がありました。また、「分からない」と答えた人の意見としては、法律の成立を願うけれども、現実的に受け入れる準備が出来ていないと考える意見が多いという結果になりました。

## 七・結論

今回は台湾人と日本人のLGBTに対する現状を知る調査を行い、それぞれにどんな思いを持っているのかについて、大まかな傾向を掴むことが出来ました。台湾はアジアで最初の同性婚を合法化した国ですが、国内にはまだこの法律に反対してる人たちがいます。しかし、国民がその法律に対して賛成と反対の声をあげることはどちらも認められるべきです。今後は台湾におけるLGBTに関する法律の動きや社会の変化、同性婚の合法化についての意見を更に詳しく調査をしたいと考えています。この法律が台湾に、また台湾の人々の暮らしに影響を与えたかどうか、またそれはどのような影響だと思えるのかなどについて考察してみたいです。

## 八・注解

\*1：他に性別的な少数派や性的指向を表す言葉は、Q、A、Iがあります。Qはクィア(Queer)やクエスチョニング(Questioning)を表します。クィアは元々「おかしい」、「変態」などを表す、貶す言葉ですが、現在では性の少数派を表します。クエスチョニングは自分の性同一性や性的指向を迷っている人を表します。Aは無性愛者(Asexual)という、性的な行為に関心や欲求が低い人を表す文字です。Iはインターセックス(Intersex)、つまり男性と女性どちらの性も持っている人を表します。

\*2: 「閩南人（びんなんじん）」閩南民系とは、中華民国（台湾）や中華人民共和国（中国）福建省に居住する漢民族の一派のことを表します。会話言語に共通性があり閩南語や台湾語を使用します。文書には中国語を使います。

## 九・参考資料

維基百科：同性結婚

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%90%8C%E6%80%A7%E7%B5%90%E5%A9%A#%E4%B8%AD%E8%8F%AF%E6%B0%91%E5%9B%BD%EF%BC%88%E5%8F%B0%E6%B9%BE%EF%BC%89>

維基百科：中華民国における LGBT の権利

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%AD%E8%8F%AF%E6%B0%91%E5%9B%BD%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%8BLGBT%E3%81%AE%E6%A8%A9%E5%88%A9>

維基百科：台湾

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%8F%B0%E6%B9%BE%E5%90%8C%E6%80%A7%E7%B5%90%E5%A9%A>

台湾、同性婚認める法案を可決 アジア初

[https://www.nikkei.com/article/DGXLASGM24H99\\_U7A520C1FF1000/](https://www.nikkei.com/article/DGXLASGM24H99_U7A520C1FF1000/)

台湾、同性婚認める法案を可決 アジア初

<https://www.afpbb.com/articles/-/3225489>

台湾における性的マイノリティ運動——その宗教的諸関係をめぐって

<https://www.psj.org/2019/10/20/%E5%8F%B0%E6%B9%BE%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%8B%E6%80%A7%E7%9A%84%E3%83%9E%E3%82%A4%E3%83%8E%E3%83%AA%E3%83%86%E3%82%A3%E9%81%8B%E5%8B%95-%E3%81%9D%E3%81%AE%E5%AE%97%E6%95%99%E7%9A%84%E8%AB%B8%E9%96%A2%E4%BF%82%E3%82%92%E3%82%81%E3%81%90%E3%81%A3%E3%81%A6/>

LGBTQIA 這些字母指的，究竟是哪些人？

<https://www.ivf.com.tw/ja/features-1844-4051/3%E3%81%A4%E3%81%AE%E8%AA%AD%E3%81%BF%E6%96%B9-%E5%8F%B0%E6%B9%BE%E3%81%AE%E5%90%8C%E5%BF%97%E3%81%AF%E5%90%88%E6%B3%95%E7%9A%84%E3%81%AB%E7%B5%90%E5%A9%A%E3%81%97%E3%81%A6%E3%81%84%E3%81%BE%E3%81%99%EF%BC%81.html>

台湾の同志は合法的に結婚しています！

<https://www.thenewslens.com/article/81481>